

令和3年11月24日 五味 壮平委員（岩手大学）より

※ 審議会終了後、チャットへの書き込み内容を改めて記載していただいたもの。

世代をとわず、また、県内／県外在住者をとわず、社会的な課題に対して取り組む主体（個人・組織・団体）をふやすためには、

- 1) 岩手県・県内各市町村でどのような社会的課題・テーマが存在しているのか
- 2) そのような課題・テーマに関心を持った場合は、どうすれば参加することができるのか？

ということをさまざまな人たちに対して見える化することが大事だろうと考えます。

それを可能にするプラットフォームがあるといいのではないかと考えました。

また、こうした課題については、きわめてシビアで、解決が強く求められるものももちろん多いわけですが、初心者やあまり経験がない方々にとっては、そのようなハードな課題ばかりでは、敷居が高く、なかなか参画したいとは思いにくくなってしまいかもかもしれません。地域づくりに関わることが楽しく面白いものであると感じられるようなテーマについてもあわせて見えるようにすることも大事だろうと思います。（その後の、鹿野さんのコメントでは、さらに、それらの課題が漠然としたものではなく、これなら自分でもできる！と思えるような具体的なものである必要性が指摘されていましたね。）

このようなことを考える背景には、岩手大学と立教大学が運営している陸前高田グローバルキャンパスで、今年からはじめている「陸前高田イタルトコロ大学事業」における試行錯誤の経験があります。地元からニーズをすいあげて、それらをあらかじめ登録していただいている陸前高田ゆかりの大学（学生組織・研究室）とうに提供するとともに、ある課題にたいして興味をもった大学の組織・団体があれば、マッチングを行うというものです。

まだまだのところもありますが、すこしずつ経験をつみあげているところです。

<https://takataitarutokoro.wixsite.com/website>